## HQ440d/HQ40dを使用した自動塩分補正機能による溶存酸素測定

## 1 概要

蛍光式溶存酸素プローブLDO101と、電気伝導率セルCDC401を組合わせて使用することにより、自動塩分 補正機能を利用した溶存酸素測定を行うことができます。塩分濃度が変化するサンプルの溶存酸素測定に 有効です。

## 2 準備

- ・ 蛍光式溶存酸素(LDO)プローブ : LDO101
- 電気伝導率セル : CDC401

設定は、電気伝導率セルから行ってください。 ※ LDOプローブから行った場合、選択設定できない項目があります。

HQdメーターへのプローブおよびセルの接続チャンネルは、自由です。



設定が、 『Current Method: Hach Salinity』に変更されます。 Exit キーを2回押します。	CDC401 Settings Current Method: Hach Salinity Modify Current Settings Copy Current Method As Delate a Method
初期画面に戻ります。	Exit Select
電気伝導率の単位が『‱』になります。	✓ OK °C ◆ mg/L % ✓ OK °C ◆ US/cm △ SampleID 時刻

続いて、 LDOプローブ LDO101 の設定を行います。 ※ 電気伝導率の単位が 『‱』 であることを確認してください。	LDO101/CDC401 ✓ OK °C ← mg/L % ✓ OK °C → 0K °C → µS/cm ↓ SampleID 時刻 ← 日付 Single ← Read
<ul> <li>ミレンシングングライン・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シング・シン</li></ul>	<ul> <li>Full Access Options</li> <li>LDO101 Settings</li> <li>CDC401 Settings</li> <li>Measurement Mode</li> <li>Instrument Information</li> <li>Security Options</li> <li>Display Options</li> <li>Exit</li> <li>Select</li> </ul>
『LDO101 Settings』が表示されます。 ▼ キーで『Modify Current Settings』を反転選択し、 Select キーを押します。	LDO101 Settings Current Method : Factory Cal Modify Current Settings Copy Current Method As Delate a Method Exit Select
『Modify Current Settings』が表示されます。 ▼ キーで『Measurement Options』を反転選択し、 Select キーを押します。	Modify Current Settings Measurement Options Units: mg/L Calibration Options Exit Select

『Measurement Options』が表示されます。 ▼ キーで『Salinity Correction: Off』を反転選択し、 Select キーを押します。	Measurement Options Resolution: 0.01—Medium Measurement Limits Salinity Correction: Off Pressure Units: hPa Averaging Interval: Off Exit Select
『Salinity Correction』が表示されます。	Salinity Correction
『Sal Correction Mode: Off』が反転選択されています。	Sal Correction Mode: Off
Select キーを押します。	Correction Factor: 35.0‰
『Select Sal Correction Mode』が表示されます。 ▼ または ▲ キーを押して 『Auto(*)—Use CDC401』を選択し、 OK キーで確定します。	Select Sal Correction Mode         ○ Off         ○ Manual         ● Auto(*)—Use CDC401
設定が、	Salinity Correction
『Sal Correction Mode: Auto(*)』に変更されます。	Sal Correction Mode: Auto(*)
Exit キーを5回押します。	Correction Factor: 35.0%

初期画面に戻ります。	LDO101/CDC401
以上で設定は完了です。	И С С
	∠ OK °C ➡ <b>%₀</b> μS/cm
	▲ SampleID 時刻 <b>南</b> --- 日付
	Single 🗣 🛛 Read
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、	LDO101/CDC401
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰) のように表示されます。	<b>LDO101/CDC401</b> ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰)のように表示されます。	LDO101/CDC401 ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C ← 7.82 mg/L 96.4 %
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰) のように表示されます。 ※ 右図の測定値は例です。	LDO101/CDC401 ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C ◆ 7.82 mg/L 96.4 % ✓ OK 25.8 °C
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰) のように表示されます。 ※ 右図の測定値は例です。	LDO101/CDC401 ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C ◆ 7.82 mg/L 96.4 % ✓ OK 25.8 °C ◆ 4.65 ‰ 8.51 µS/cm
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰) のように表示されます。 ※ 右図の測定値は例です。	LDO101/CDC401 ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C ◆ 7.82 mg/L 96.4 % ✓ OK 25.8 °C → 4.65 % 8.51 µS/cm ↓ SampleID 時刻
測定を行うと、溶存酸素濃度単位の上部に、 塩分補正を表す"S"と、濃度"〇〇‰"が、 (S=〇〇‰) のように表示されます。 ※ 右図の測定値は例です。	LDO101/CDC401 ✓ OK (S=4.65‰) 25.7 °C ◆ 7.82 mg/L 96.4 % ✓ OK 25.8 °C ◆ 4.65 ‰ 8.51 µS/cm ↓ SampleID 時刻 ★ 日付